

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、説明的な文章を読んで文章全体の構成を捉え、中心となる語や文を見つけて要約したり、文章と図を結び付けて必要な情報を見付けたりすることについて、全国平均を上回る正答率でした。算数では、記述で答える設問の多くで全国平均を上回る正答率でした。本校で長年にわたり取り組んでいる「学習版高島スタイル」では、授業終盤に学習内容を自分の言葉でまとめたり、分かったことや考えたことを振り返ったりする活動を継続して指導してきました。それらの学習活動を通じて培ってきた力が結果に表れてきたものと思われま

す。質問紙調査の結果から、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」の設問では、「ある」「もっている」と回答した児童の割合が全国平均より多いことが分かりました。これは、総合的な学習の時間を活用した立志教育等の取組で、自己肯定感が高めたり、将来の自分の姿を具体的に考えたりしたことが結果に反映されたものと思われま

す。国語では、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係等、言葉の特徴や使い方において、正答率が低く、課題がみられました。算数では、公式に当てはめて解くような基礎的な設問では正答率が高いのに対し、応用的な設問では正答率が低いことから、学習内容を活用することに課題がみられました。そこで、既習事項の振り返りを朝学習を利用して引き続き取り組み、発展的な問題に取り組む場を定期的に設定したいと考えています。

質問紙調査の結果から、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対し、「守っている」と回答した児童は59.6%で、全国平均と比較すると少ないことが分かりました。また、「約束はない」と回答した児童が13.7%おり、全国平均より高いことが分かりました。メディアチャレンジカード等を活用し、メディアとの上手な付き合い方についての意識を高めていけるように努めてまいります。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

全国学力・学習状況調査の結果から、「朝食を毎日食べる」「睡眠時間をしっかりとる」といった正しい生活習慣が、身に付いていることが分かります。しかし、メディアとの関わり方については、課題のある児童が見られます。これからも児童のよりよい生活習慣の確立のため、学校と家庭とで連携して進められるように、一層のご協力をお願いいたします。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	配当漢字を正しく読み書きすることができる。
	社会	地図から情報を読み取ることができる。
	算数	3けた－3けた＝3けたのひき算の計算ができています。
	理科	虫めがねの正しい使い方を身に付けている。
	学習状況	1日あたりゲームやインターネットを長時間利用している児童が少ない。
第5学年	国語	配当漢字を正しく読み書きすることができる。
	社会	都道府県の地理的特徴を理解している。
	算数	直方体の展開図を理解している。
	理科	空気のあたたまり方を理解している。
	学習状況	1日あたりゲームやインターネットを長時間利用している児童が少ない。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	目的や必要に応じて伝えたいことを明確に表現することに課題がある。	国語においては、目的に応じて文章を書くことや、社会において複数の資料を関連付けて考えたことを文章等で表現すること、算数や理科で学習した知識を正しく活用することに課題がある。今後の改善策としては、目的意識を明確にした上で、適切に書くことのできる力を付けていきたい。また、特定の教科に限らず、複数の資料を関連付けて考え、言葉で表現する活動や、学習した知識が実生活で活用できるような場面を意図的に設定していきたい。 学習状況については、自分で計画を立てて家庭学習を進めることに課題があるが、毎学期のすくすくチェックシートの取組を継続し、めあての時間、家庭学習に取り組めるよう意識付けしたい。また、優れた自主学習を紹介、掲示することで、意欲の継続につなげていきたい。
	社会	複数の資料を関連付けて考え、表現することに課題がある。	
	算数	球についての性質を利用して数値を求めることに課題がある。	
	理科	太陽と影の位置関係をかげふみに応用し、活用することに課題がある。	
	学習状況	家で自分で計画を立てて勉強している児童が少ない傾向が見られる。	
第5学年	国語	文の構成についての理解に課題がある。	国語については、主語・述語などの文の構成に着目できる場面を必要に応じて取り入れたい。社会では、学習した知識を自分の生活と関連付けて考え、言葉で表現する力を付けていきたい。また、特定の教科に限らず、複数の資料を比較したり、図表から読み取れることを言葉で表現したりする場面を授業の中でバランスよく取り入れたい。理科においては、観察の際に対象物にあわせて正しく器具を扱う指導を丁寧に行いたい。 学習状況については、コンピュータなどのICTを使用する学習が少ないことに課題があるが、今年度から1人1台配置されたChromebookを、様々な教科や活動において積極的に活用していく機会をもたせていきたい。
	社会	自然災害について自分にできることを考え、表現することに課題がある。	
	算数	数量の関係を式に表すことに課題がある。	
	理科	虫めがねを使って観察することに課題がある。	
	学習状況	前の学年までの授業で、ICTを活用した学習が少ない傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

学力アセスの結果から、スマートフォンやゲームなどで日常的にメディアを活用している児童は多いですが、利用時間については長時間にならないように、意識をしながら活用している児童が多いことが分かります。家庭学習については、自分で計画を立てて学習を進めることに課題がある児童も少なくないことが分かります。「すくすくチェックシート」や「メディアチャレンジカード」を活用し、今後とも家庭での学習や生活の様子を見守って頂きたいと思っております。